



図書館 だより

図書館 ☎ 69♦3706

おしえて! 図書館 (レファレンス)

Q 蒲郡の意外な伝説って何かありますか?

A はい、蒲郡に浦島太郎伝説があります。「太郎塩」という大塚地区に伝わる民話です。大塚に塩を伝えたのは、なんと! 浦島太郎だった!? という不思議なお話。

こちらの本には、他にも市内各地区に伝わる民話がたくさん載っていますよ。



『ぬすまれた観音さま
- 蒲郡の
むかしのはなし -』

蒲郡市立形原北小学校・
PTA / 編集・発行

レファレンスとは情報や本などを探すお手伝いをする図書館のサービスのひとつです。

図書館に入った本



いろいろな本があります。
一部をご紹介します♪

	『DIYで暮らすインテリアの本』 日本ヴォーグ社
	『松下幸之助パワーワード 強いリーダーをつくる114の金言』 小宮一慶 / 著 主婦の友社
	『過ぎ去りし王国の城』 宮部みゆき / 著 KADOKAWA
	『人間の愚かさについて』 曾野綾子 / 著 新潮社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

水族館でも活躍のアサリ

■潮干狩りと水族館

今年も竹島は潮干狩りでにぎわった。竹島の橋の下はアサリよりの人のほうが多いくらいだった。人々はみな朝からバケツとスコップを持ってゾロゾロと水族館の前を通過して行った。

子供が「水族館行きたいね」と言うと、お父さんは「じゃあ潮干狩りの帰りに寄ろうね」などと言うのでシメシメと思いつながら何だか陰気な気分です。水槽の陰に潜んで待っているのだが、潮干狩りをや

■午前の潮は大打撃

昼からの潮だと午前中水族館、午後アサリ、という竹島最高スケジュールとなるのだが、朝の潮だと前述の通りだ。館長悲しい。水族館に砂浜を作ってアサリを獲る展示をしたらどうかと思つたが、我が弱小窮屈水族館に砂浜を作るそんな場所はない。アサリは動かないから魚ほど面白くないし、そ

るとお父さんは疲れてしまふし、獲ったアサリを持っていくので水族館には寄らないのである。このところ、なんとも非常に悔しくて毎晩枕を濡らしていた。

■魚にも人気

まあ激しく問いただしてもアサリは殻をつむんで黙っているのだろけれど、申し訳ないことに水族館では毎週水曜日と金曜日はこの殻をこじ開けて魚たちのエサとして活躍させてもらっている。いや怒って悪かった。いつもありがとう。お世話になっています。

もそもめあれは食うものであつて見られるものではない。本人(本貝)もそれを自覚してか砂の中にひたすら潜って姿を隠している。水族館の客は奪うし、殻に閉じこもつたあ

潮干狩りシーズンになると当然身が良くなって、魚にやるにはもったいないなあ。と飼育員は毎年ぼやいている。魚にとつても美味しいのだから、争うように食べる。ハリセンボンなんか勢い余つて殻さら食って後から粉砕した殻を口から吐き出して。水槽の中は基本的にそれほどやることもないので殻つきのアサリをひもに結んで連ねてカーテンのようにして水槽へぶら下げると熱帯魚などは一日中それをつついていたりするの



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059